

23年度

パドラーズトピックスー7

東日本大震災一ひとつの考え方の報告
気仙沼から(4月23日～4月24日)



今回は大川に近い菅原さん宅と東電気さんのがれき撤去でした。到着後すぐに菅原さん宅に向かい、依頼された大事なもの（金庫）と御位牌を探す作業行いました。すべてのがれきを撤去しなければ探すことは出来ないほど半端でないがれきが天井近くまでびっしりでチェーンソーまで用意して向かいました。案の定はいることすら難儀の状態で、手前の倉庫を片付けて、そこに必要なものを入れることから始めました。捜索班は奥の仏間と金庫があったところから探し始めました。開始早々運良く金庫（丸印の中の黒い四角）のを発見しました。重い金庫なので下ばかり探していましたが、実は押入れの上の戸袋の手前に引っかかる状態で、50～60キロはある重い金庫が津波の力で軽々と天井付近まで持ち上げられた格好です。改めて水の力に驚きました。その後流された仏壇付近から4個の位牌も次々に発見し、菅原さんも大変喜んでくれました。

菅原さんも外に流れてしまい、まさか見つかるとは思っていないようでした。一日以上はかかると覚悟をしていましたが、午前中で作業が終わりました。

家の中には、オイルの入ったドラム缶や他の家のお風呂桶も流れていて、また秋刀魚などの冷凍された魚の固まりなどもあり、さながら被災地の縮図がここにありました。悪臭とともに・・・



昼は南郷地区のラーメンの炊き出しをしました。小雨となったため、南郷調剤薬局のお店の中をお借りしての奉仕活動です。

地域の方や南郷地区にボランティアに来ていた方など150食の炊き出しとなりました。

震災から初めてラーメンを食べたとうれしそうに食べるおじいさんがとても印象的でした。子供さんから年配の方まで多くの方に喜んでもらい、最後にコーヒーのサービスもしました。久しぶりの本格コーヒーを味わって飲む姿に今回参加したメンバーもうれしさを感じていました。やってよかったと。





大賑わいの店内の風景です。



午後からは向かいの東電気さんのお店と事務所の片付けに向かいました。

シャッターをこじ開け、お店や事務所の中のがれき化したゴミの搬出やヒドロ出しに半日を要しました。



がれき撤去後、ヘドロ上げ、そして仕上げは洗浄です。あっという間にもとの生活空間に生まれ変わります。



24日の朝に対岸のニノ浜までの被災地を視察しました。鳥のえさを届けた中村理事の思いをたどりながら浦島小学校まで行ってきました。やけだだれた船や、からぶき屋根だけ残した家の姿などみてあらためて悲惨さを感じてきました。



野球少年「小野寺海くん」の通う浦島小学校にも行って来ました。また彼とお母さんともお会いしてきました。



高橋航士君（明桜高校2年生）は家ごとすべて流された海君の為にバットとボールにグローブの野球用品をプレゼントしたいとひそかに考えて今日手渡しが出来、二人でキャッチボールを楽しんでいました。



一ヶ月前には桜が咲くとは思えない状態でしたが、ご覧のように武田さん宅の庭にはきれいな桜が咲き、見る人に安堵感とこれからの復興に向けて一歩一歩前を進む気持ちにさせてくれているようです。手前の土嚢袋は庭一面あったヘドロです。

今回は気仙沼から二家族、秋田で長期に避難される方も一緒にお連れしました。また3日から5日まで武田眼科医院のスタッフのご家族22名も秋田に来る予定です。少しでも秋田の地においてのんびりすごして欲しいと思います。このときは子供たちのための「お楽しみ会」をサンパティオの中庭で企画しようと思います。